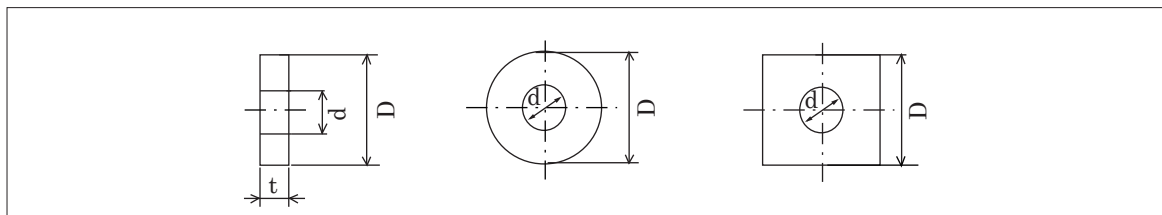


# 構造用アンカーボルトに使用する定着板の推奨寸法

定着板の寸法(参考値)



単位:mm

ねじの呼び	丸型						四角型									
	外径(D)		内径(d)		板厚(t)		外辺(D)		内径(d)		板厚(t)					
	標準寸法	許容値	標準寸法	許容値	標準寸法	許容値	標準寸法	許容値	標準寸法	許容値	標準寸法	許容値				
M16	48	±1.0	18	±1.0	10	±1.0	50	±1.0	18	±1.0	9	±0.5				
M18	60		22		13		55		20		10					
M20			26		15		60		22		12					
M22	72		26		15		±1.0		70		24		16			
M24									75		26					
M27	91		32		17		±1.0		90		29		19			
M30									100		32					
M33									102		38			20	110	38
M36															120	41
M39	120		45		24		±2.0		120		44					
M42		125		48												
M45		140		51		±2.0		150	51	22						
M48								55	59							
M52	160	59	27	±2.0	155	63	25									
M56					165	67										
M60					180	67		31	±2.0	176	71	28				
M64										186	76					
M68	190	76	34	±2.0	196	80	32									
M72					206	84										
M76					210	84		42	±3.0	219	89	36				
M80										232	94					
M85	240	94	47	±3.0	244	99	40									
M90					257	104		±0.7								
M95					260	104			50							
M100	260	104	52	±3.0	257	104	50		±0.8							

上記の表に示す形状及び寸法の数値は、JIS B 1220:2015解説に掲載されている定着板寸法の参考値です。詳細に関しては、JIS規格書でご確認ください。

コンクリートの設計基準強度は、アンカーボルトの呼び径に対して、右の表に示すように18N/mm<sup>2</sup>~24N/mm<sup>2</sup>と仮定しています。

上表定着板の寸法は、アンカーボルトが十分に塑性変形できるように、アンカーボルトの軸部が定着板に先行して降伏するように設計されており、この参考寸法値の算出設計条件については本カタログの8ページに掲載しています。

なお、コンクリート基礎のコーン状破壊については、フーチング形状が個々の設計において異なること、アンカーボルトの軸力伝達に対してフーチング内に配筋を行なう場合があること等を考え、上記表に示した寸法は、コンクリート基礎のコーン状破壊を考慮したものではありません。したがって、フーチングが小さく、コーン状破壊の可能性がある場合には、適切な定着板を用いる必要があります。

アンカーボルトのねじの呼び	コンクリートの設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )
M16~M30	18
M33~M48	21
M52~M100	24